令和六年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

小規模多機能ホームおあしす国分

◆事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

令和7年3月24日
小規模多機能ホームおあしす国分
霧島市国分福島三丁目61番3号
電話 0995(48)5262
FAX 0995(48)5263

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 24 日 (18 : 00 ~20 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	9 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画	○利用開始における情報収集を可能な限り本人やご家族様から聞き取りサービスに反映する。 ○利用開始前における利用者様の情報共有にスタッフ全員で取り組み利用者様の利用における不安解消に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	○概ね計画に沿った取り組みが出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	8	0	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	8	1	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	9	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	10	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○ケアマネジャーが作成した情報を基に情報共有ができていた。 ○ご利用者様の初期利用時における言葉かけや気遣いを特に大切にしました。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○ご利用者様によっては介護サービスに慣れるまで時間のかかる方もいた。 ○医療ニーズの高いご利用者様に対しての把握に苦慮した。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
○初期段階におけるご利用者様の情報収集は本人や家族等より行い必要なサービスを提供する。 ○ご利用者様の利用開始に関しては特に言葉かけや説明を行い不安の解消に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 24 日 (18 : 00 ~20 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	10 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画

- ケアマネージャーを主としてスタッフ全員で本人の「～したい」を実現するための課題に取り組む
- ミーティングやカンファレンスの時間を有効に活用して積極的に意見交換を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ミーティングやカンファレンスを定期的実施し本人の「～したい」の実現に取り組むことが出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	8	3	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	9	2	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7	4	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	8	2	0	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ミーティングやカンファレンスを定期的実施してご利用者様のニーズを把握していた。
- 日頃からご利用者様の会話を大切に聴き取るようにした。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 「～したい」についての把握において職員間で理解の差があった。
- 本人、家族の意向の違いがありサービス提供に苦慮した。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 利用者様の「～したい」を実現するために介護事業所として何が出来るか会議等を利用して意見交換を行う。また、会議では積極的に発言を行い課題解決に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 24 日 (18 : 00 ~20 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	10 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画	○引き続き 10 程度は本人の以前の暮らし方を把握出来るよう職員は各自努める。 ○日頃の支援の中から本人の健康状態や生活状況の変化に気づき適切なサービスを提供出来るようスタッフ間で情報共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	○以前の暮らしにおいて 10 の把握は難しかった。 ○体調や気持ちの変化に気づきサービスを提供することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	6	6	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	8	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	9	2	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	5	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	7	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○ご利用者様の体調不良や言動から迅速に適切な対応をとることが出来た。 ○連絡ノートを活用によりご利用者様の生活を知ることが出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○体調急変や突然の事態に対して戸惑うことがあった。 ○本人の暮らしの 10 の把握をすることが出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
○ご利用者様との関わりのなかでこれまでの暮らし方について 10 個程度は把握できている関係づくりに努める。 ○ご利用者様の希望や状態の変化に気づきサービス内容を随時変更する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 24 日 (18 : 00 ~20 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	3 人	5 人	2 人	12 人

前回の改善計画
○住み慣れた環境で利用者様が生活を続けられるために家族、地域等の協力を頂きながらの生活支援を検討する。 ○利用者様とのかかわりの中で地域住民との関わりをもちサービスを利用していない時の情報を探る。
前回の改善計画に対する取組み結果
○本人を支える協力者との繋がりを切らさぬよう関係性を維持出来た。 ○事業所を利用していない時の生活状況が把握し辛かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	6	4	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	4	5	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	3	5	2	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	4	2	4	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	○家族を始めご利用者様を支える地域の方々との関係づくりに取り組んだ。 ○日頃よりご利用者様と地域との関係づくりが出来ないか考えている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	○勤務形態などにより事業所外での交流が出来ず利用日以外の生活状況を把握しにくい。 ○民生員や自治会などの関わりがない職員がいた。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	○事業所以外でご利用者様の生活の支援をして頂ける方との関係性を大切にして地域でご利用者様の生活を支えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 24 日 (18 : 00 ~20 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	7 人	2 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<p>○小規模多機能ホームの特性を活かしたサービスを引き続き提供する。 ○地域資源を活かしたサービスを検討して地域で本人の生活を支えられるよう努める。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>○小規模多機能ホームの特性を活かして様々なサービスに対応する事が出来ていた。 ○身近な買い物など地域の交流にも支援を行うことが出来た。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	7	2	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	6	0	1	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	5	1	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	8	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>○病院や近所のスーパーなど地域資源を活用したサービス提供が出来ていた。 ○ニーズに合わせて小規模多機能ホームのサービスを計画的に利用されていた。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>○特定の地域資源に偏る傾向があった。 ○かかわりが少なく本人の変化に気づくことが遅れることがあった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>○小規模多機能ホームのサービスを利用しながら事業所でのサービス提供が難しいことについては地域の社会資源を活かして支えていけるように地域との関係性作りにも努め協力関係を築く。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 24 日 (18 : 00 ~20 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	2 人	4 人	3 人	12 人

前回の改善計画	○感染症の予防を行いながら各種機関との連携、イベントへの参加を検討する。 ○登録高齢者だけの支援にとらわれることなく福祉の事業所としての活動に協力する。
前回の改善計画に対する取組み結果	○感染症の予防には事業所全体で取り組む事が出来た。 ○地域で行われるイベントに参加して福祉事業所として協力する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	0	4	5	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	0	2	7	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	0	2	7	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	2	2	6	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○感染症の予防を徹底する事が出来た。 ○外部より学生ボランティアを受け入れた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○感染症のリスクがある為、外部へのイベントにはなかなか参加できなかった。 ○地域会議やイベントに参加する機会の少ない職員もいた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
○感染症予防に取り組み感染者が出た場合の対応は迅速に行い事態の収束に努める。 ○関係機関との会議への参加やボランティアの受け入れなどを検討する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 24 日 (18 : 00 ~20 : 00)

7. 運営

メンバー 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	9 人	1 人	0 人	12 人

前回の改善計画
○事業所運営における改善点などを職員会議などで出し合い課題解決に向けてスタッフ全員で取り組む。 ○利用者様、家族、地域などの意見、苦情などは真摯に受け止め早期対応に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
○職員間の意見交換を行いご利用者様の課題解決に取り組むことが出来た。 ○苦情に関しては迅速な対応が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	9	1	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	9	0	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4	3	3	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	1	6	3	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	○会議に関しては積極的に意見を出すようにしている。 ○地域活動に参加して情報収集している。 ○職員会議や社報から新しい情報を把握している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	○運営推進会議への出席が特定の者に限られている。 ○地域との関わりが少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	○事業所への意見や苦情に関してはミーティングや会議などで話し合い再発の防止に努める。 ○意見や苦情に関して事業所だけでは解決が難しい場合は地域や関係機関の協力を仰ぎ事態の解決を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 24 日 (18 : 00 ~20 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	4 人	6 人	0 人	12 人

前回の改善計画
○部内研修や外部研修を計画的に実施することで事業所全体の介護の知識の向上に努める。 ○地域連絡会への所属を増やせるよう努める。 ○資格取得を目指している職員へのサポートを行い有る資格者などが協力する。
前回の改善計画に対する取組み結果
○研修に関しては計画的に実施することが出来た。 ○地域連絡会への増員は出来なかった。 ○ケアマネージャーの受験し合格者が出た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	7	4	0	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	3	3	12
③	地域連絡会に参加していますか	2	0	3	7	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	4	3	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○研修を計画的に実施することが出来た。 ○ケアマネージャー試験に挑戦出来た。 ○介護事故に対しては報告書を作成し事故の再発予防に取り組むことが出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○地域連絡会への参加が体制の問題でなかなか出来なかった。 ○各自の都合により研修に参加出来ない職員もいた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
○事業所全体の介護の質の向上を図る為研修の実施や参加、資格取得など計画立てて行う。 ○地域連絡会の参加などから介護関連の情報共有等に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 12 月 24 日 (18 : 00 ~20 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 12 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	9 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画

- 不適切なケアの無い事業所として職責者を中心とした職場環境づくりに努める。
- プライバシーや個人情報への管理を徹底する。
- 成年後見制度に関する機会を作り職員の知識の向上に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 事業所で身体拘束や虐待の事例は無かった。
- 情報管理を徹底して情報漏洩の防止が出来た。
- 成年後見制度を利用する対象者がいなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	2	0	0	12
②	虐待は行われていない	11	1	0	0	12
③	プライバシーが守られている	7	5	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	0	5	4	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	8	0	0	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 身体拘束や虐待防止に関する研修を実施し不適切なケアが無いように取り組んだ。
- SNS の利用や個人情報の取り扱いには十分に注意しながら事業を運営した。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 成年後見制度を利用する利用者はいなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 事業所で身体拘束や虐待などが無いように管理徹底する。また、個人情報の取扱いに関しても危険性を職員が意識して慎重に取り扱う。
- 成年後見制度の利用希望者がいれば関係機関と協力し支援を行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社メディーコープ	代表者	代表取締役 中道 浩二	法人・事業所の特徴	利用者様ができるだけこれまでの生活を続け、その人らしく「わが家」で暮らし続けることができるように支援していきます。また、霧島市の「まちかど介護相談所」としてライフサポートワーカーを配置し、地域からの介護などについての相談窓口となっています。
事業所名	小規模多機能ホーム おあしす国分	管理者	前川 和弘		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	1人	1人	1人	人	1人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所の課題はスタッフ全員で意見交換を行い改善に努める。 ○運営推進委員を始め地域の声を聴き取り事業所の改善に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○サービスの改善やリスクマネジメント、教育など全体的に取り組む事が出来ていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画通りに取り組みが出来ていたようです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所の課題解決は職員間の連携や運営推進委員の皆様や地域資源の協力を頂きながら課題解決に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所内、外の環境整備に取り組み利用者様だけでなく外部の方からも居心地のよい事業所と思われるよう努める。 ○家庭菜園や作品作りは季節に合わせたテーマに沿って行い、利用者様と一緒に活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境整備や家庭菜園の活用など行っていた。施設についても適切に対応されていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いつでもご利用者様や面会者が気持ちよく事業所を利用できるように環境整備をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所の環境整備は基本の取り組みとして菜園などの活用にも取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所の環境整備は常時行い事業所を利用される全ての方に居心地の良い事業所と思われるよう努める。 ○地域との交流に取り組み地域の困りごとや相談をしやすい事業所づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取り組みは確認出来たが地域に事業所が認知されているかについては分からなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所がなるべく多くの方に知られて利用して頂けるように努めて下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の会議やイベントに参加して事業所を多くの方に知って頂き利用して頂けるよう報知する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社メディコープ	代表者	代表取締役 中道 浩二	法人・事業所の特徴	利用者様ができるだけこれまでの生活を続け、その人らしく「わが家」で暮らし続けることができるように支援していきます。また、霧島市の「まちかど介護相談所」としてライフサポートワーカーを配置し、地域からの介護などについての相談窓口となっています。
事業所名	小規模多機能ホーム おあしす国分	管理者	前川 和弘		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	1人	1人	1人	人	1人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所の課題はスタッフ全員で意見交換を行い改善に努める。 ○運営推進委員を始め地域の声を聴き取り事業所の改善に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○サービスの改善やリスクマネジメント、教育など全体的に取り組む事が出来ていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画通りに取組みが出来ていたようです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所の課題解決は職員間の連携や運営推進委員の皆様や地域資源の協力を頂きながら課題解決に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所内、外の環境整備に取り組み利用者様だけでなく外部の方からも居心地のよい事業所と思われるよう努める。 ○家庭菜園や作品作りは季節に合わせたテーマに沿って行い、利用者様と一緒に活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境整備や家庭菜園の活用など行っていた。施設に関しても適切に対応されていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いつでもご利用者様や面会者が気持ちよく事業所を利用できるように環境整備をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所の環境整備は基本の取り組みとして菜園などの活用にも取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所の環境整備は常時行い事業所を利用される全ての方に居心地の良い事業所と思われるよう努める。 ○地域との交流に取り組み地域の困りごとや相談をしやすい事業所づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取り組みは確認出来たが地域に事業所が認知されているかについては分からなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所がなるべく多くの方に知られて利用して頂けるように努めて下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の会議やイベントに参加して事業所を多くの方に知って頂き利用して頂けるよう報知する。